

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成26年11月13日 (2014.11.13)

【公開番号】特開2013-105477(P2013-105477A)

【公開日】平成25年5月30日 (2013.5.30)

【年通号数】公開・登録公報2013-027

【出願番号】特願2011-251305(P2011-251305)

【国際特許分類】

G 0 6 F 9/445 (2006.01)

G 0 6 F 9/50 (2006.01)

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 9/06 6 5 0 B

G 0 6 F 9/06 6 4 0 H

G 0 6 F 9/06 6 4 0 A

H 0 4 M 1/00 R

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月26日 (2014.9.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ネットワークに接続可能な 1 以上の携帯端末と、前記ネットワークと前記 1 以上の携帯端末との間でデータを中継する中継装置から構成される携帯端末システムであって、

前記中継装置は、前記携帯端末の何れかが自中継装置に帰属すると、自中継装置が提供可能な 1 以上のアプリケーションプログラムに係るプログラムリストを送信するリスト送信手段と、前記携帯端末の何れかからの要求に応じて自中継装置または所定のファイルサーバに存在しているアプリケーションプログラムを当該携帯端末に送信するプログラム送信手段と、を有し、

前記携帯端末は、前記中継装置から前記プログラムリストを受信するリスト受信手段と、1 以上のアプリケーションプログラムの送信を前記中継装置に要求するプログラム送信要求手段と、前記中継装置から前記 1 以上のアプリケーションプログラムを受信すると、当該アプリケーションプログラムを記憶するプログラム記憶手段と、前記記憶した 1 以上のアプリケーションプログラムのいずれかを実行すると、当該アプリケーションプログラムの起動日時を記録する起動日時記録手段と、

前記記憶したアプリケーションプログラムのいずれかを削除するプログラム削除手段と、を有し、

前記プログラム削除手段は、前記起動日時記録手段を参照し、最新の起動日時から予め定められた期間が経過したアプリケーションプログラムを、自動的に削除することを特徴とするアプリケーションプログラム削除機能を有する携帯端末システム。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の携帯端末システムであって、

前記携帯端末は、新たに別の中継装置に帰属し、前記リスト受信手段が当該別の中継装置から新たなプログラムリストを受信すると、前記プログラム送信要求手段は、前記新たなプログラムリストから前記プログラム記憶手段が既に記憶したアプリケーションプログラ

ラムまたは前記プログラム削除手段が既に削除したアプリケーションプログラム以外のアプリケーションプログラムを前記他中継装置に要求することを特徴とするアプリケーションプログラム削除機能を有する携帯端末システム。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の携帯端末システムであって、

前記携帯端末は、前記中継装置に帰属している状態における起動日時と、前記中継装置に帰属していない状態における起動日時とに分類して前記アプリケーションプログラムの各々の起動日時を前記起動日時記録手段に記録し、前記中継装置に帰属していない状態において起動したアプリケーションプログラムの内、最新の起動日時から予め定められた期間が経過したアプリケーションプログラムを、自動的に削除することを特徴とするアプリケーションプログラム削除機能を有する携帯端末システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

例えば、本発明は、ネットワークに接続可能な 1 以上の携帯端末と、前記ネットワークと前記 1 以上の携帯端末との間でデータを中継する中継装置から構成される携帯端末システムであって、

前記中継装置は、前記携帯端末の何れかが自中継装置に帰属すると、自中継装置が提供可能な 1 以上のアプリケーションプログラムに係るプログラムリストを送信するリスト送信手段と、前記携帯端末の何れかからの要求に応じて自中継装置または所定のファイルサーバに存在しているアプリケーションプログラムを当該携帯端末に送信するプログラム送信手段と、を有し、

前記携帯端末は、前記中継装置から前記プログラムリストを受信するリスト受信手段と、1 以上のアプリケーションプログラムの送信を前記中継装置に要求するプログラム送信要求手段と、前記中継装置から前記 1 以上のアプリケーションプログラムを受信すると、当該アプリケーションプログラムを記憶するプログラム記憶手段と、前記記憶した 1 以上のアプリケーションプログラムのいずれかを実行すると、当該アプリケーションプログラムの起動日時を記録する起動日時記録手段と、

前記記憶したアプリケーションプログラムのいずれかを削除するプログラム削除手段と、を有し、

前記プログラム削除手段は、前記起動日時記録手段を参照し、最新の起動日時から予め定められた期間が経過したアプリケーションプログラムを、自動的に削除することを特徴とする。